

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山 216-1
〒350-0826 TEL.049(227)5588
星野学園小学校
Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

心躍る新入生と満開の桜

第九回 星野学園小学校入学式

今年の春は気温の上昇が早く、桜の満開が全国的にも早かった。入学式を迎えるころには桜が散ってしまうのではないかと心配されたが、入学式前に気温が急激に下降。桜の花びらは奇跡的に満開をたもったのである。まるで新入生を迎えるかのように咲き誇る桜は、入学式を彩った。



エントランスには在校生が作った桜がお出迎え



中学生と一緒に、ハーモニーホールへ

四月九日(木)に、講堂大講堂(ハーモニーホール)で挙行された。入学式には、中高の教職員だけでなく、小学四年生以上の在校生、中学生や高校生も参列し、六十三名の新一年生を温かく歓迎していた。真新しい制服に身を包んだ、初々しい一



新しいクラスで、新しいお友達や先生とスタート!

二年生は、中学生に手を引かれ、講堂へと入場した。その表情には、緊張や不安の様子も覗かれたが、これから始まる学校生活への期待感が溢れかえっていた。厳肅な雰囲気の中で、式典は吹奏楽部ウィンドオーケストラによる演奏から華々しく始まった。中高生は勿論、四年生以上の小学生も、一年生の将来

の目標とすべき姿を示すかのように、堂々とした姿で参列していた。お世話になった方々からの多くの祝電や、ご来賓の方々からのご祝辞をいただき、新一年生が温かく迎えられた入学式となった。式典後、新一年生は、新しい教室で、新しいお友達や先生と学級開きを行い、小学校生活をスタートさせた。廊下や教室の各所には、入学を祝う装飾で彩られ、学校全体が新一年生を歓迎していた。



緊張しながらもしっかり列になって歩けたね

新一年生六十三名が置かれ、一年生を迎えていた。机の上には初めて手にする教科書、先輩としてお世話になる新二年生からのお手紙やプレゼントが置かれ、一年生を迎えていた。机の上には初めて手にする教科書、先輩としてお世話になる新二年生からのお手紙やプレゼントが置かれ、一年生を迎えていた。



おいしい給食に笑顔がこぼれる

給食のメニューでは特にカレーが大人気です。かわりに長蛇の列ができる。これを勉強し、心も体も大きく成長するであろう一年生の活躍が楽しみだ。(國分)



立候補者たちの毎日の挨拶が元気をくれる

やる気に満ちた児童会を築き、児童会を中心に、児童が主役の、自慢できる学校を目指し、より良い学校作りに励んでもらいたい。(佐藤優)

お兄さん、お姉さん、初めまして!

星野学園小学校対面式

やったあ 一年生の様子
カレーだ!

児童会選挙

入学式翌日

入学式からの約一週間、オリエンテーションで、お話の聴き方運動や放送演説等、全

四月十日、星野ドームにて、新入生と在校生の対面式が行われた。クラスごとのプラカードを手にした担任の先生を先頭に、緊張した面持ちで全校児童の前を歩いた。その足取りは、たどたどしくも、温かい拍手の中、最後まで立派に行進することができた。校長先生からも「遊びにも勉強にも全力で取り組みなさい」という話があった。在校生による学園歌斉唱は、期待に胸がいつぱら始まる星野学園でのむような歌声で、星野学校生活へドーム全体に大きく響き渡る。新入生は在校生の優しい歓迎の第一歩を踏み出し、歩き始めた。安が和らいだのではないだろうか。(渡辺)

(渡辺)

(國分)

(國分)

(佐藤優)

仰げば尊し わが師の恩...

第三回 星野学園小学校卒業式



三月十四日、柔らかな春の日差しの中、七十八名の三期生が卒業の日を迎えた。式典中は終始厳粛な雰囲気で行われ、卒業生はその雰囲気の中、六年間の思い出を噛み締めているようであった。

卒業証書を受け取る姿は凛々しく、まさしく最高学年としての自覚と誇りに満ち溢れた顔つきであった。送辞では六年生へこれまでの感謝の想いを綴り、答辞では母校への愛と感謝を感じさせる温かい言葉に、卒業生だけでなく、会場内全体が涙を流すことができた。卒業生にとつて小学校で歌うことが最後となる「学園歌」それに続けて「仰げば尊し」に想いをのせて歌う。そして卒業生退場の際には、ウインドオーケストラ部

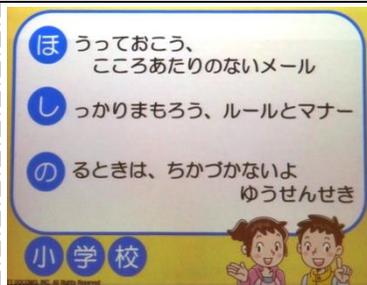


凛々しい顔立ちの卒業生

の演奏にあわせて在校生が「旅立ちの日に」を歌い、卒業生たちを見送った。その歌の贈り物には、卒業生へのエールが込められており、普段は涙を見せない卒業生からも、笑顔とともに、温かい涙が頬を伝っていた。今日の別れは明日からの新たな出発につながるにちがいない。(山口)

安全対策

安全第一・人命尊重を掲げる本校の安全教育の一環として、安全対策「くま」と題した、防犯・非行防止教室(全学年)、携帯電話マナー教室(一・四学年)、電車・バスマナー教室(一・二学年)が、NITT DoCoMoの



本校の標語を作っていた

ブリッジ講習 三月二十三日から二十五日までの三日間、星野学園小学校を卒業したばかりの子どもたちが、内部進学ブリッジ講習に参加した。ブリッジ講習とは、中学校での授業をひと足早く体験して、学習の動機付けにする



緊張した面持ちで問題に取り組みます

るとともに、中学校への円滑な橋渡しを目的として、星野学園中学校・高等学校の教員が企画・運営している講習である。一日目は数学。模擬試験や定期考

学習発表会

二月二十一日(土)、星野記念講堂ハーモニーホールで、一年間の学習の成果を発表する学習発表会が行われた。一年生はリズムに乗せて音読する



登場人物になりきって演じた4年生

チャントを、二年生は国語で学んだ内容を題材とした劇を披露した。三年生は総合的な学習の時間や普段の授業で学んだ日本の文化を紹介し、四年生は東海道上藤栗毛をユニークな演出でアレンジし表現した。(國分)

体育行事

二月二十五日(水)、第二体育館において、星野学園の卒業生であり、NHKラジオ体操に出演していた小野梨沙先生を招き、ラジオ体操講習会が行われた。一・二年生はラジオ体操第一を、三・四年生はラジオ体操第二をそれぞれ学



お手本通り、よく見てできました

習した。一つひとつの動きのポイントを学ばせ、積極的に児童が体を動かせるような取り組みが行なわれた。その他、三・六年生は星野ドームでマラソン大会を、一・二年生はドッジボール大会を行い、一人ひとりが全力で頑張っている。寒い季節だからこそ、星野学園小学校では体育的行事を充実させ、積極的に児童が体を動かせるような取り組みが行なわれている。(渡辺)



ゴールを目指し、全力でシュート!

星野カップ

平成二十六年度三学期、一年に一度のサッカー大会「星野カップ」が、全校を挙げて開催された。全学年・全クラス対抗で行われ、一学年から六年生までが、隔てなく熱き戦いを繰り広げる。グループリーグとなる予選ブロックを戦い、ブロックごとに上位クラスが決勝トーナメントへと駒を進めることができる。勿論、学年差があり、全学年・全クラスが対等に戦えるよう、異学年での戦いはハンデ戦となる。そして、激闘を戦い抜き、栄冠を手にしたのは、六年A組であった。今大会、六年A組は、最多得点・無失点を大会記録として残したのであった。(佐藤優)